

令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立川永小学校
作成日	令和 6年 3月 8日

1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもち、主体的にたくましく生きる子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 ・毎日の勉強が分かる(児童90%台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%以上) ・いじめの解消率(100%) ・いじめアンケート、情報モラル授業を数回実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べた(100%) ・児童のアンケートで「体育の授業が楽しい・休憩時間は元気に外遊びができた」と答える子を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者85%以上) ・学期に1回以上地域の人材を活用する
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎をしっかり身につけ主体的に学べるようになれば、それぞれの能力を自ら伸ばせるようになると思う。 ・確かな学力の向上には、基礎基本の定着が大切であり目標として最適である。 ・「家庭学習の定着」や「読書活動の推進」は、学力や想像力を豊かにし、目標として評価できる。 ・授業参観を通して発表や司会進行の担当を任せる機会を設け積極的に学ぶ姿勢を養ってくださっていると感じました。また毎日の本読みを宿題とし読書の習慣もつくよう努めてくださっておりありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心は目に見えないが最も大切なものである。心は具体的なことばによって育まれていく面が大きいので、道徳教育等は大切であり、評価出来る。 ・「豊かな心の育成」は人間として最も大切であり、道徳・人権教育の充実が重点目標として最適である。 ・学校が楽しいと感じることは最も大切なことなのでぜひ続けていただきたい。 ・学校が楽しいと感じるのはお友達や先生方との人間関係が深く関わっていることだと思います。いじめの解消や人間としてのコミュニケーションのツール「あいさつ」を今後も重点目標として行っていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力をつけることや基本的な生活習慣の確立は生涯に影響を与える重要な点である。 ・「健やかな体の育成」は人間形成、学習、社会生活にとって大切であり、「体力向上」や「生活習慣の確立」は、目標として最適である。 ・コロナが前より日本の子どもたちの体力は年々低下していると聞いていましたが、テレビゲームや家で遊ぶことが増えたからだと思っています。熱中症などの心配もありますが、今後も外遊びの推進など継続して行っていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の接続や学校間連携は児童のスムーズな環境への適応に繋がりに良いと思う。地域との連携は、児童の将来の郷土愛につながり、有難い。 ・学校・家庭・地域の連携は、「開かれた学校づくり」に必要であり、みまもりたいなどがっこうだけでなく地域の活性にもつながり評価できる。 ・是非続けていただきたいと思えます。 ・コロナの影響も多少あると思えますが地域ボランティアの方の高齢化に伴い、地域の方との関わりが薄れてきていると感じました。どんな方々が子どもたちと一緒に見守ってくださっているかなど、「ありがとう集会」などを通して子どもたちや保護者に伝えることは大切だと思います。

<p>取組状況に対する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童はタブレットなどを用いた情報収集能力に長けており、授業にも活かされている。 ・学力の向上について「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」や自分の考えを書き、それを根拠に発言できる授業の実施など、子どもたちが積極的に学習することに役立っていると考えます。 ・ICTについてはタイピングが速くなったとの声を子どもから聞くので、パソコンを取り入れた授業を行ってくださっており助かります。 ・子どもと親が一緒になって取り組む宿題もあったりと家庭学習にも力を入れていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から推測するに、いじめをなくす取り組みについては、さらなる改善の余地があるのかもしれない。 ・豊かな心を育てるには「心のとびら」を活用し道徳の充実を図りいじめなどの無い学校を作っていただきたい。 ・取り組み状況が的を得ていると思います。 ・いじめ不登校の取り組みについてはなるべく早期に見つけ気づくことが大切である。 ・日頃から子どもと子ども、教師と子ども、教師と保護者の信頼関係を築いておくことが大切である。 ・いじめアンケートを実施していることを初めて知りました。また、道徳や情報モラルなどについて学ぶ機会を設けてくださったり高学年をリーダーとして取り組んでくださったりと、いじめ防止に力を入れられていて本当にありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校外(少年野球や合気道、空手、水泳などの習い事など)で体力をつけている児童も多いと思うが、そうした機会のない子どもでも体力をつけられるような取り組みがあれば良いと思う。授業だけでなく休憩時間に楽しみながら体力をつけられる「鬼ごっこ」や以前に実施していたマラソン大会の復活なども良いかもしれない。 ・児童の体力向上や「早寝、早起き、朝ご飯」の生活習慣を整え、交通安全、危機対応などは人間形成にとって最も大切なことで取組として適切と考えます。 ・保護者に啓発することで早寝早起き朝ごはんが製菓に繋がっているのは素晴らしい。 ・生活習慣のチェックや避難訓練などを定期的実施して下さり先生方の取り組みには感謝しかありません。早寝早起きなど意識して行っている家庭も多いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流については校長、教頭はじめ先生方も積極的に取り組もうとされている。 ・ホームページ、学校だより、学級だより、保健だよりなどで学校の情報を定期的に発信しているので、児童や学校の様子がよくわかり積極的に行って欲しい。 ・家庭訪問はできるだけ増やしていただけたら良いのですが。 ・学級だよりをまめに配布し、子どもたちの様子を伝えてくださったり、力侍神社など地域のことを学ぶ機会を設けてくださったり、忙しい中、本当に感謝しています。三者懇談は限られた時間ですがとても貴重な時間です。
<p>取組の適切さの検証結果に対する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観などを拝見するに、概ね、子どもたちは主体的に学んでいる。自分の考えを発表することを重視しており、学力調査では測れない面にも力を入れている。 ・児童の88%が毎日の勉強がわかると回答しており授業が適切に行われていると考えます。まるしかし県学力調査で5年生の理科国語が県平均を下回ったのは残念です。 ・5年 理科 国語が県平均を数ポイント下回ったが他の学校も頑張っているのだから時には仕方ないことで来年また頑張れば良い。 ・アンケート 保護者 No. 15項目「思わない」が51%→40%と減少している。どのような指導があったのでしょうか。 ・学年に応じて子どもたちがここで考え発表する意見を言えるように授業を工夫して下さっているなど、参観の度に感じています。緊張して発表できない子に対しても寄り添いその子のペースに合わせて授業を進めていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の雰囲気は非常に穏やかで安定している。先生方も明るい。学校は社会の縮図ともいえるので、いじめらしきものはあると想像するが、学校は現実の社会より遥かに美しく純粋で、子どもたちは素直である。大人がまずは反省し、改善して、子どもたちに範を示すべきであると感じる。 ・児童の94%が学校は楽しいと回答していることは取り組みが適切であると考えます。 ・いじめ防止については早期発見に努めいじめアンケート実施把握や未然防止に努めていることが良い結果につながっていると考えます。 ・学校のいじめ対策が保護者に理解されているのですか？ ・いじめは必ずあるという前提に立って対処していただきたい。 ・先生方が情報を共有したり不登校委員会などの活動を子どもたちに寄り添って下さっているおかげで子どもたちが楽しく学校生活を送れているのだと感じました。お忙しい中ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にコロナ禍で体力が低下してきていると聞いているが、川永の子供たちは、豊かな自然のなかで伸び伸びと育ってほしい。そして都会の子には負けない体力もつけてほしい。 ・児童たちは元気に外遊びを行い体育の時間でも体力作りに努めているとは良いことと考えます。 ・元気に外遊びをする子達をよく見かけるが気持ちよく嬉ししい。 ・保健だよりは必ず子どもと一緒に読ませてもらっています。クイズなどを交えて作成して下さっており子どもにも分かりやすく家庭でも意識して取り組めると感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検や秋祭りなど様々な地域と交流する場があった。地域のイベント「竹燈夜」では全校生徒が参加し、地域に多大に貢献した。 ・ホームページ 学校だより 学級だより 保険だよりの発信は学校と保護者との繋がりができる。保護者にとっても安心材料となり良いことと思います。 ・先生の見守り活動について、先生も地域の方とともに朝立たれているが、児童を教室または校門で迎えていただけの方が良いように思います。 ・1年生が新1年生の子どもたちの学校案内をしたりして微笑ましい様子を学級だよりにて拝見しております。また、育友会の活動を通し、地域の方との関わりを持ち、支えられていることを改めて知ることができました。

<p>改善方法に 次年度に 向け する 意見</p>	<p>・学習指導要領をはるかに超えて、興味を持ったことはほとんど学べる環境があれば良いと思う。どんなことでも学ぶ意欲が膨らむと子どもたちの吸収力は無限大である。様々な本がある図書室で高学年と低学年の児童どうしの交流とか、児童と先生方(地域の方)との交流などが日常的に行われれば良いと思う。</p> <p>・授業の中で自分の考えを書きそれを出し合い話し合っ深めていく授業をさらに進め基礎基本を大切に学力向上を目指していただきたい。</p> <p>・学年が上がるに連れ学習内容も難しくなっていますが、勉強に対する苦手意識が芽生えないよう、今後も先生方と協力して私たち子どもたちと向き合っていないかならないと思います。</p>	<p>・(以前・加太小学校の先生に地域の清掃活動をしてると聞いたことがあるが)地域でボランティア活動をするなど、人の為に何かをすることを通じて、心の教育をしていくのも良いかと急う。</p> <p>・学校は楽しいと回答する児童をもっと増やせるように今以上にいじめ防止 学力向上に努めるよう 関係機関と連携していただきたい。</p> <p>・誰にでも進んで挨拶ができる子供が昨年よりも9ポイント増えている点が気がかり。</p> <p>・過去のいじめに対する指導の不信感が解消されていないこともあるが、それにしても保護者に14%も取り組んでくれないとは問題と思う。</p> <p>・会議でも意見が出ましたが、「いじめアンケートを実施しています」などと、どんなことを学校で行っているのか 簡単に良いので保護者に伝えと学校の取り組みも把握してもらえて良いの良いと思しました。</p>	<p>・(今はあるのかどうか知らないが、)和歌山市の小学校陸上競技大会や水泳大会、バスケットボール大会などでの優勝を目指して春から取り組むなどすると、目標を設定することでモチベーションが高まり、自ずと体力作り役立つのではないだろうか。</p> <p>・児童の体力向上 健全育成 安全教育などについては健やかな体の育成にとって必要不可欠と考えますので 今以上に目的を定めて行っていただきたい。</p> <p>・防災意識を高める機械を作ってみてはどうですか？</p> <p>・交通安全教室について、自転車に乗り始めの頃のため 乗り方、ルール、よくある事故などの事例を踏まえ 実技指導されたい。</p> <p>・今年度より4年ぶりに様々な活動を再開し先生方も試行錯誤実施してくださっていると思います。いろいろと課題はあるかと思いますが、来年度もよろしく願いいたします。</p>	<p>・かつて実施していた、地域の の方々に戦争体験の話を聞く(国語で「ちいちゃんのかげおくり」を学んだ際)とか、六箇井土地改良区さんで大畑才蔵氏のお話を聞くなどの行事も復活できたら良いと思う。また川永地区を通る熊野古道を盛り上げていこうと、今、地域で取り組んでるので、出来れば児童さんに語り部などをして頂けたら有難い。</p> <p>・コロナも感染症 5類に位置付けられ 学校行事も平常時に戻り 地域とのつながりもできると思われるので積極的に地域を利用していただきたい。</p> <p>・先生方の負担が増えない方向で学校行事に地域の人々が参加できる機会を増やしたら良いと思う。</p> <p>・子どもたちの教育 だけでなく保護者や地域の方と連携し 様々な活動に取り組むことは容易ではなく、先生方の負担になっては と思いますが、今後ともよろしくお願い いたします</p>
<p>3 その他のご意見</p> <p>○地域の深刻な課題として、農業の後継者問題があります。今のままだと10～20年後は耕作放棄地が増え、荒地で地域環境も悪くなるかもしれません。川永小学校の児童さんにも地域の農業に関心を持って頂き、興味のある方の中からこれからの地域の農業を担って下さる方が一人でも育ってくだされば嬉しいです。</p> <p>○コロナも感染症 5類 となり 地域とのつながりもできると思われるので 点 学校 保護者のため 地域の活性化のためになる行事を計画できると良いと思います。</p> <p>○小学生の保護者が小学生の子どもに身につけさせたい力として社会生活に必要な知識やマナーや人の意見を受け止めたり 自分の考えを適切に 伝える力が最近増えてきていると最近の新聞に掲載されていた。すでに学校教育で指導されているところでもあるが 地域とのさらなる交流やコミュニケーション能力を伸ばす 学びが必要とされるのであろう。</p> <p>○コロナが明け色々 と 模索しながら子どもたち・保護者・地域の方と関わってみえたいと思います。人員不足の中で苦労は耐えなかったことに思います。引き続き 無理なく先生方 ご自身の体調を労りながら子どもたちのために取り組んでいただけたら嬉しいです。</p>				